

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（英語グローバル学）の学位を授与します。</p>			<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような教育方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本学科は、アメリカ分校（MUSC）と連携し、グローバルな英語教育と人材育成を展開します。本学科ではすべての学生が、全員参加のMUSCでの4ヶ月の留学（レギュラープログラム）と、希望者が参加するMUSCでの更なる4ヶ月の留学（エクステンションプログラム）を通し、実践的な英語力と異文化の理解を高められるカリキュラムを提供します。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>国際社会で通用する知識や英語力を身につけ、社会で活躍しようとする者を受け入れます。</p>
1. 知識・理解	1-1	英語の構造や英語によるコミュニケーションに関して専門的な知識を有している。	<p>【英語文化専攻】</p> <p>本専攻は、英語力の向上とともに、人文学の広く深い学びの経験を通して、異文化理解力と言語コミュニケーション力を備えた総合的人間力を涵養します。</p> <p>基礎教育科目は、高度な英語運用能力を養う科目で構成されています。1・2年次では、英語の「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能を磨きます。3・4年次では、2年次前期のMUSC留学で鍛えた発信力を中心に、英語の実践的運用能力を強化します。</p> <p>専門教育科目は、「英語文学」「英語学」「英語教育学」の3つの専門領域とそれらをつなぐ「異文化理解」の4つの科目群、および英語による表現力を伸ばす科目で構成されています。1年次は、導入的科目を通して異文化理解に関する知識と理論を身につけ、留学での実践的学びに備えます。2年次後期および3・4年次は、4つの科目群から履修し、各自の関心に沿った専門的な学びを深めます。同時に、3・4年次には、各専門領域のゼミに所属し、卒業論文を作成します。</p> <p>また、英語上級者認定プログラム（Advanced Course in English: ACE）では、原則英語による授業を4年間履修することによって、より高度な英語運用能力の修得を目指します。</p>	<p>①入学までに、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科を含む幅広い基礎知識を備えている人</p> <p>②入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディーズに関する基礎のおよび専門的な知識を修得する意欲を持った人</p> <p>③本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人</p> <p>④入学後にアメリカ分校（MUSC）へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人</p> <p>⑤国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍する意欲を持った人</p> <p>⑥中学校・高等学校の英語科教諭、学校図書館司書教諭、図書館司書の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与する意欲を持った人</p> <p>（⑥は英語文化専攻のみが該当）</p>
	1-2	異文化理解や多文化共生に関して専門的な知識を有している。		
	1-3	国際人として必要なコンピュータリテラシーを有している。		
2. 技能・表現	2-1	実践的な英語によるコミュニケーションを理解し、効果的に発信することができる。	<p>【グローバル・コミュニケーション専攻】</p> <p>本専攻は、「豊かな知識」と「実践的な英語力」の修得を通して、国際社会で活躍できるグローバル市民の幅広い資質を涵養します。</p> <p>基礎教育科目は、実践的な英語コミュニケーション力を養う科目を中心に構成されています。1・2年次では、英語基礎科目やMUSC留学などを通して、英語力の基礎を固めます。また、2年次から4年次にかけて、「Advanced Global English Courses」でプレゼン力・交渉力など、実践本位の英語力を磨きます。</p> <p>専門教育科目は、「コア科目群」、「グローバル・スタディズ科目群」、「ビジネスコミュニケーション科目群」、およびキャリア設計科目を中心に構成されています。1・2年次は、異文化間コミュニケーション・多文化共生等の「コア科目群」に取り組むとともに、様々な地域言語への造詣を深めます。さらに、キャリア設計科目や「2年次演習」で、専門的な学びに備えます。3・4年次には、「グローバル・スタディズ科目群」と「ビジネスコミュニケーション科目群」を通して、より高い専門性と幅広い教養を身につけます。同時に各専門領域のゼミに所属し、卒業論文を作成します。</p> <p>また、「グローバル特殊講義」では、グローバル・コミュニケーションに関する極めて専門的な知識の修得を目指します。</p>	
	2-2	専門分野の英語を理解し、英語で発信することができる。		
	2-3	ICTを利用して情報を収集し、発信することができる。		
3. 思考・判断	3-1	自分の考えを論理的に組み立てることができる。	<p>【グローバル・コミュニケーション専攻】</p> <p>本専攻は、「豊かな知識」と「実践的な英語力」の修得を通して、国際社会で活躍できるグローバル市民の幅広い資質を涵養します。</p> <p>基礎教育科目は、実践的な英語コミュニケーション力を養う科目を中心に構成されています。1・2年次では、英語基礎科目やMUSC留学などを通して、英語力の基礎を固めます。また、2年次から4年次にかけて、「Advanced Global English Courses」でプレゼン力・交渉力など、実践本位の英語力を磨きます。</p> <p>専門教育科目は、「コア科目群」、「グローバル・スタディズ科目群」、「ビジネスコミュニケーション科目群」、およびキャリア設計科目を中心に構成されています。1・2年次は、異文化間コミュニケーション・多文化共生等の「コア科目群」に取り組むとともに、様々な地域言語への造詣を深めます。さらに、キャリア設計科目や「2年次演習」で、専門的な学びに備えます。3・4年次には、「グローバル・スタディズ科目群」と「ビジネスコミュニケーション科目群」を通して、より高い専門性と幅広い教養を身につけます。同時に各専門領域のゼミに所属し、卒業論文を作成します。</p> <p>また、「グローバル特殊講義」では、グローバル・コミュニケーションに関する極めて専門的な知識の修得を目指します。</p>	
	3-2	自らの学びに基づき、グローバルな視点から主体的に判断ができる。		
	3-3	幅広い教養と深い専門知識に基づいた批判的思考ができる。		
4. 態度・志向性	4-1	国際社会において異なる意見や立場を理解して行動することができる。	<p>【グローバル・コミュニケーション専攻】</p> <p>本専攻は、「豊かな知識」と「実践的な英語力」の修得を通して、国際社会で活躍できるグローバル市民の幅広い資質を涵養します。</p> <p>基礎教育科目は、実践的な英語コミュニケーション力を養う科目を中心に構成されています。1・2年次では、英語基礎科目やMUSC留学などを通して、英語力の基礎を固めます。また、2年次から4年次にかけて、「Advanced Global English Courses」でプレゼン力・交渉力など、実践本位の英語力を磨きます。</p> <p>専門教育科目は、「コア科目群」、「グローバル・スタディズ科目群」、「ビジネスコミュニケーション科目群」、およびキャリア設計科目を中心に構成されています。1・2年次は、異文化間コミュニケーション・多文化共生等の「コア科目群」に取り組むとともに、様々な地域言語への造詣を深めます。さらに、キャリア設計科目や「2年次演習」で、専門的な学びに備えます。3・4年次には、「グローバル・スタディズ科目群」と「ビジネスコミュニケーション科目群」を通して、より高い専門性と幅広い教養を身につけます。同時に各専門領域のゼミに所属し、卒業論文を作成します。</p> <p>また、「グローバル特殊講義」では、グローバル・コミュニケーションに関する極めて専門的な知識の修得を目指します。</p>	
	4-2	国内外の諸問題に対して高い関心を持ち、自律的に探究し行動することができる。		
	4-3	多様な人々と積極的に協働し、地域・企業・団体・学校などにおける社会的活動に貢献できる。		